



大学での研究を活かし、現在はシステム開発を担当しています

Vol.9 新しい環境に挑戦し 世界で活躍したい

ヴー ティゴック アン(ベトナム出身)
情報学部行動情報学科(2024年卒業)
2025年4月より矢崎総業株式会社 勤務

得意な数学を活かせる学問を学びたいと思い、充実したシラバスと留学生への手厚い支援がある静岡大学に進学しました。

在学中は、画像生成モデルの検索アルゴリズムについて研究しました。具体的には、AIによる画像生成モデルを対象とした検索手法です。一般的に画像に写っている被写体に注目して検索を行います。私の研究では画像の「画風」のみに着目して検索を行う点に



母国のお気に入りの景色
Ninh Binh県にある
Thung Nham山の夜景



アジアブリッジプログラム(ABP)は、静岡県とアジア諸国の架け橋として活躍する人材を育成するため、企業や自治体と連携して、静岡大学で学ぶ留学生を応援しています。ご支援いただいている企業の皆様のおかげで、開講10周年を迎えることができました。



ABPについて



ABP10周年記念
特設サイト

プロジェクト vol.1 研究所レポート

プロジェクト研究所は、学内研究者の連携や産学官連携を促進し、自主的な研究活動を支援する静岡大学独自の制度です。未来をリードする新たな研究が生まれています！3ページからの特集もあわせてご覧ください。



デジタル社会における法的対応研究所

個人データの利活用により新たな産業が生まれ、社会の利便性が向上するなか、行政の担う役割の変化への対応が喫緊の課題となっています。本研究所では、デジタル化の推進と共に生じた諸変化に、法制度がどのように対処していくかについて、産・学・官が連携して研究を展開しています。現在は、静岡県との連携を図りつつ、韓国・台湾大学、AI・IoTを活用した介護事業を行う民間企業と共同研究を行っています。



研究所長
グローバル共創科学部
朱 嘩 教授



研究所WEBサイト



・AIと法
・法整備の検討
・高齢者支援策
・民事信託
・パーソナルデータの利活用

機能分子材料研究所

エネルギーの安定供給・経済成長・排出削減の同時実現を目指すグリーン・トランスフォーメーション(GX)の推進のために、革新的な材料の開発が重要となっています。本研究所では、エネルギー、環境分野を主な対象とし、GXに資する電池・触媒・水・外部刺激応答に関連する機能分子材料の探索と機能評価に取り組んでいます。研究成果を応用研究へ発展させながら、社会実装とGX実現に貢献します。



研究所長
グリーン科学技術研究所
理学部
守谷 誠 准教授



研究所WEBサイト



・材料
・分子
・電池
・触媒
・水
・光
・圧力

Shizudai Mini News

東海大学静岡キャンパスと 包括連携協定を締結

静岡大学と東海大学静岡キャンパスは、3月に包括連携協定を締結し、締結式を東海大学海洋調査研修船「望星丸」で挙行了しました。本包括連携協定に基づき、静岡市・静岡県の地方大学・地域産業創生交付金事業「駿河湾・海洋DX先端拠点化計画」による海洋DXの推進、大学院レベルでの単位互換に向けた整備など、教育、学術研究、地域連携や人的交流に関する取り組みを連携して進めていきます。今後、国立・私立の壁を越えて連携していくことで、未来を創る教育・研究成果を幅広く地域社会へ波及させていきます。



日詰一幸学長(中央左)と内田晴久東海大学静岡キャンパス長(中央)ら

「マリンインフォマティクス 研究機構」を開所

「マリンインフォマティクス研究機構」を静岡理工科大学と共同設置し、開所式を4月に挙行了しました。本機構は、海洋に関する多様な社会課題をデータ分析により解決する「マリンインフォマティクス」研究強化のために設置され、両大学の強みを活かし、資源を有効活用した横断的な研究連携体制の構築や、駿河湾を対象にした海洋データ、シミュレーションモデルなどの基盤システムの開発推進を目的としています。今後、本機構の連携大学の東海大学を加えた3大学から募った研究テーマを20件選定し、研究を進めていく予定です。



日詰一幸学長(中央左)と木村雅和静岡理工科大学長(中央)ら

中国・浙江大学と 大学発スタートアップに 関する覚書を締結

静岡大学・静岡県・静岡県立大学と浙江大学は、大学発スタートアップの交流・育成に関する覚書を締結しました。覚書調印のため、日詰一幸学長他7名が6月に中国・浙江省の浙江大学を訪問しました。

この協定は、これまでの学術研究、教育分野での交流を基礎として、持続的な友好交流と経済発展を担う人材や産業の育成を目的としており、産学官が連携したイノベーションの推進により地域活性化を図り、少子高齢化や環境保全など国際社会における共通課題を解決することを目指しています。

静岡県と浙江省の産学官連携を軸とした枠組みが新たに構築されたことにより、本学と浙江大学、また静岡県と浙江省との今後の交流が一層活発化することが期待されます。



(写真右より)静岡大学、浙江大学、静岡県、静岡県立大学による覚書調印式

高校生の探究学習を支援 教育学部と高校が連携

静岡大学教育学部と静岡県立静岡東高等学校、静岡市立高等学校、特定非営利活動法人しずおか共育ネットは、2023年度に教育連携協定を締結し、高大・地域連携による学びの深化と地域人材の育成に取り組んでいます。その一環として、今年度も静岡東高等学校の「総合的な探究の時間」への教育支援が始まりました。この取り組みは、専門家による支援のもとで、高等学校での学びと社会課題とをつなげ、生徒一人ひとりが社会と主体的に関わる力を養うことを目指すものです。今後も継続的な連携と発展が期待されます。



グループワークでの学び

「日本留学AWARDS」を 受賞しました

本学は「留学生にすすめる大学」として多くのご支持をいただき、『2025年日本留学AWARDS(国公立大学部門)』を受賞しました。「日本留学AWARDS」は、留学生の環境整備を目的に一般財団法人日本語教育振興協会が設立した賞で、「日本語学校の教職員が選ぶ留学生に勧めたい進学先」アンケートを毎年実施し、その結果を表彰しています(2022年は休止)。本学は2016年より過去6回受賞しており、今回で7回目の受賞となりました。全国の数ある大学の中から選んでいただけたことを光栄に思います。今後も留学生の皆さんが本学で安心して学び、充実した学生生活を送れるよう、より良い環境づくりに努めてまいります。

【本学の受賞実績】

2025年：国公立大学部門
2024年：国公立大学部門
2020年：国公立大学部門
2016～2019年：国公立大学・西日本部門



「しずおかもくまる」と 静岡大学をめぐる動画公開

静岡大学・静岡県・トヨタ車体が連携して製作した、静岡県産木材由来のセルロース素材を内外装に取り入れたコンセプトカー「しずおかもくまる」が、キャンパスキャラクターしずっぱーの案内で静岡・浜松両キャンパスを巡る動画が公開されました。西村拓也特任教授(農学部ふじのくにCNF寄附講座)、青木憲治准教授(グローバル共創科学部)、福原長寿教授(工学部)へのインタビューを通して、しずおかもくまる、セルロースナノファイバー、カーボンニュートラルについてもわかりやすく紹介しています。



動画紹介ページはこちら
静岡大学の今がわかる！
ぜひご覧ください

